

輪重・横圧測定処理システム



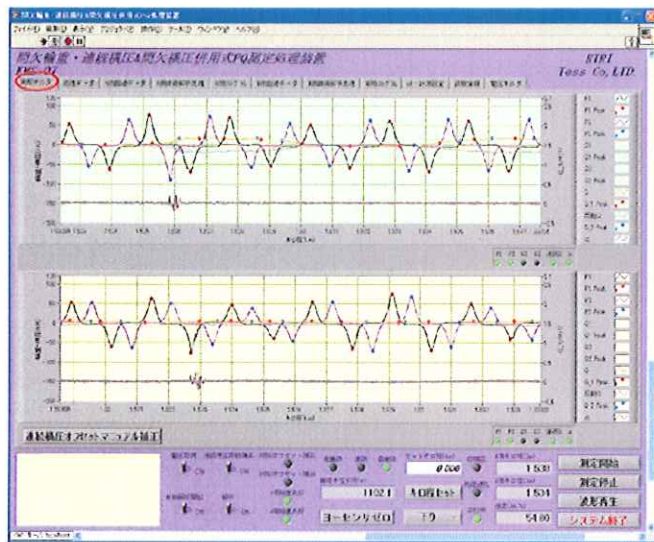
本装置は、鉄道の走行安全性試験に用いる新型の間欠輪重・横圧測定処理システムです。ハードウェア部に汎用モジュールを採用し、保守性を高めました。同時にOSをWindows化して取り扱い・操作性を容易にした上、計測ソフトウェアもモジュール化によりユーザーからの機能追加等のカスタマイズを容易にしました。



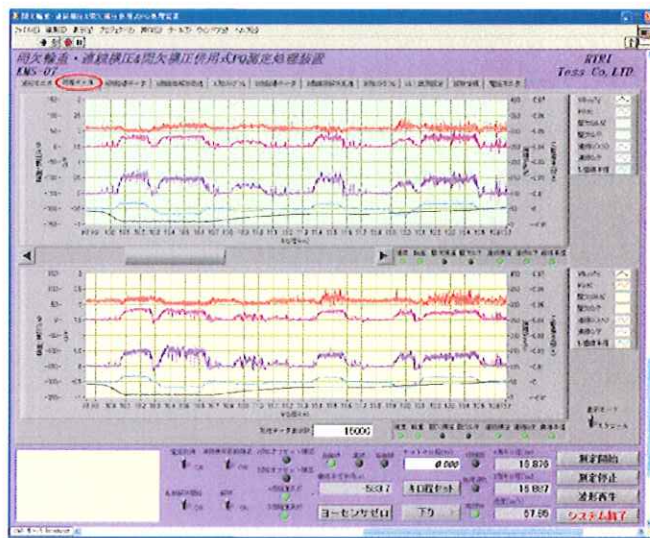
鉄道総合技術研究所

【特徴】

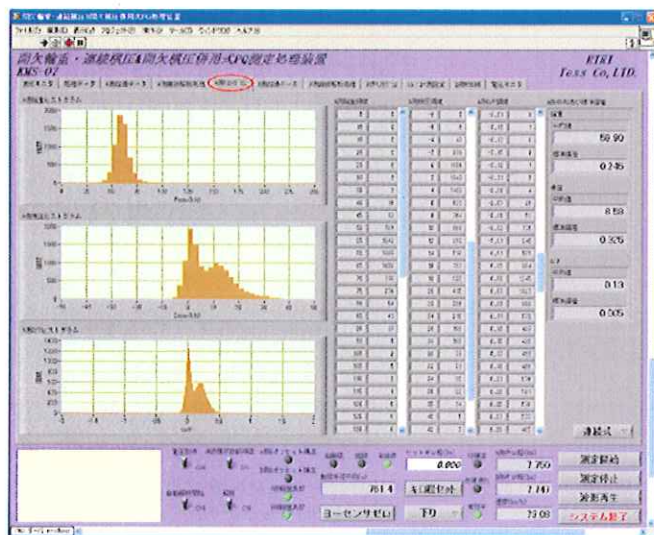
1. ハードウェア部に汎用品を採用することにより、システム全体の陳腐化を低減するとともに保守備品の入手性を大幅に改善。
2. ソフトウェア開発言語にNI社のLabViewを採用することにより、計測とデータ処理解析をモジュール化するとともにオブジェクト指向を実現。
3. ソフトウェアのモジュール化に伴い、基本機能パッケージを中心としたユーザーの要望によるカスタマイズや将来の機能追加を容易に実現。
4. オペレーションの容易なWindows対応のシステム。
5. 測定方法は、輪重・横圧間欠式に対応。
6. 分解能は16bit、10kHz/chのサンプリングで試験速度500km/hに対応。



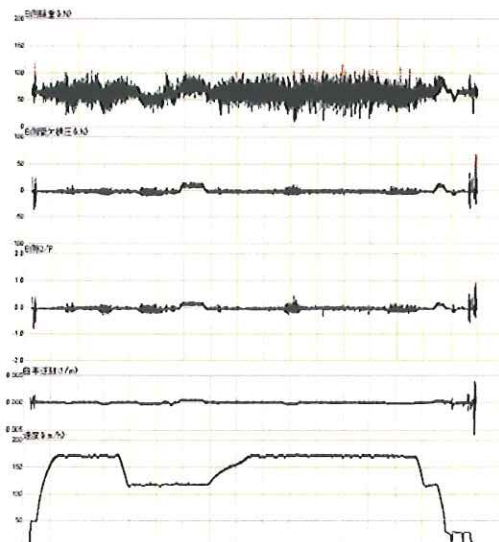
波形モニタ表示例



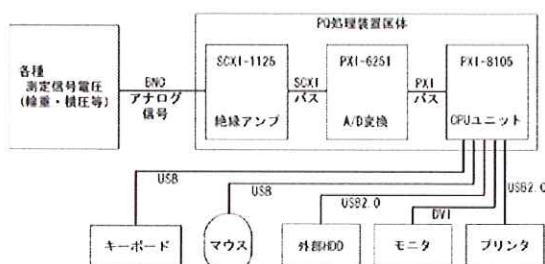
PQ処理データ表示例



ヒストグラムデータ表示例



出力表示例



システム構成図

【お問い合わせ先】

〒185-8540 東京都国分寺市光町2-8-38
 鉄道総合技術研究所 事業推進室 営業
 TEL 042-573-7232
 FAX 042-573-7231